

311名 30キロ 6時間の道のり

8月19日(土)の夜を超えて翌朝20日(日)にかけ、第39回青少年のつどい「オーバーナイトハイク」が開催されました。今回【Re:boot】再起動を合言葉に4年ぶりの開催に向け3回の下見予行歩行、全体会(同行協力者含む各部門説明会)、参加学区説明会等の準備を重ね、コロナに打ち、昨年直前で中止判断となった前回38回の雪辱を果たしました。

今回、柏市内の中学生311名が参加。青少年相談員や同行協力いただく地域の皆様と合わせ総勢約550名がA・B・Cグループに分かれ20時30分柏駅東口デッキをスタートし、翌朝6時45分、最後尾が柏中学校に無事ゴールしました。暑い・熱い参加者皆さんの夏の一夜を報告します。

仲間と語り、はしゃぎ、励ましあった一夜の経験は必ず皆さんの今後の糧になるものと信じています。地域の皆様・関係者の皆様のご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

※学区名記載ないものは事後アンケートより

長い距離を短い時間に歩くと、という特別な体験をできてとてもよかったです。《中原》



オーバーナイトハイクに協力頂いた地域の皆様からも応援メッセージのサプライズ。《完歩目指してみんな頑張れー!ゴールまであと少し》



帰宅後10時間ほど眠り続けましたが仲の良い友人たちと夜通し歩く体験は、人生初の冒険になったようです。これから何歳になってもこの国で暮らすようになって、少年時代の楽しい思い出として心に強く残るのではと存じます。《保護者様》

途中とても暑かったりしたし、救護もされたけれど、辛い時は友達と励まし合いながら楽しく完歩できた!ゴールしたときは達成感があって、とってもうれしかった。

初めて喋った子もいたし、喋ったことであっても違うクラスであまり話さなかった子が話さずとも話せたしすごくいい機会になりました!柏市はこんなにも広いんだな...と改めて実感しました。開催するために準備してくださった皆様ありがとうございました。

友達と恋バナをして楽しかったです。

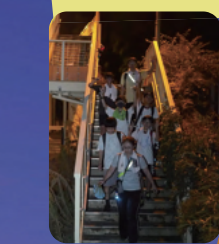
星がいっぱい見れて嬉しかったです。歩くのが長くてしんどかったです。

途中から、ものすごく足が痛くなったけど、休憩があって、大人の人にも、助けられて乗り越えられたので、これを自信に変えて部活動頑張りたい。

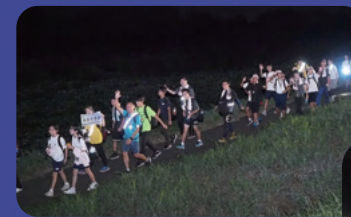
帰った後もめちゃくちゃ足痛かったけどその分すごく楽しかった。来年は他の友達も呼ぼうかな。

土手のところがとても長くて辛く、やめたいと思ったけど、諦めずに最後まで歩けたことが嬉しかった。大人の方の掛け声もとても力になりました。

初めてこんなにたくさん歩いたのでとても疲れましたが、今までの夏休みの中で、一番の思い出となりました。本当にありがとうございました。《光ヶ丘》



普段は見られない友達の一面が見られて、楽しかった面白かった。喋っていたメンバー全員が完歩できたから、達成感を感じ、より一層団結力が深まった気がした。オーバーナイトハイク最高!



最初はどなるのか不安だったけど、いざ歩いてみると、大変だけど、それを乗り越えた時の達成感がすごく楽しいです!友達とも話しながら、笑って楽しく歩くことができたので、あともう少し頑張ります!!《二中》



利根川の土手を過ぎたあたりから足の疲労感肩こり眠気が襲ってきましたが、休憩で回復しました。休憩の大切さを知ることができた良い機会でした。《松葉》



先輩や後輩たちと話しながら歩くのがとても楽しいです!川の1本道が長かったけど休憩所についた時の達成感はずかったです!(笑)完歩目指して頑張ります!!《西原》



初めてのオールとても楽しかった。



楽しかったです。街の応援メッセージがとても嬉しかったです。



消防局富勢分署様より応援メッセージのサプライズ。《みんなで夏の夜を歩こう!『熱中症に注意して頑張るより、楽しもう!』》さらに署員の方よりご声援まで!元気補給出来ました。



太田市長より、激励の言葉をいただきました。

友達と恋バナをして楽しかったです。

星がいっぱい見れて嬉しかったです。歩くのが長くてしんどかったです。

途中から、ものすごく足が痛くなったけど、休憩があって、大人の人にも、助けられて乗り越えられたので、これを自信に変えて部活動頑張りたい。

帰った後もめちゃくちゃ足痛かったけどその分すごく楽しかった。来年は他の友達も呼ぼうかな。

土手のところがとても長くて辛く、やめたいと思ったけど、諦めずに最後まで歩けたことが嬉しかった。大人の方の掛け声もとても力になりました。

協力して頂いた地域の皆様より

イベントの安全運営の為相談員以外にもご協力をいただいております。

- ・友達と笑い合いながら、励まし合いながら、時に疲れから悪態をつきながら歩く中学生諸君と歩いた30km、とても楽しかったです! みんなお疲れ様でした~!! (Aグループ)
- ・久しぶりに子供たちの元気な姿を見れてうれしかったです。全員がいろいろ感じて、学生生活の1ページになってくれることを願ってまーす♡ (Bグループ)
- ・4年ぶりの開催、参加できて良かった。とても楽しく歩きました。 (Cグループ)



休憩所

参加者みんなの憩いの場となるように、と一致団結!汗だくになりながら、準備をしました。「お疲れさま!」と拍手で迎え、「いってらっしゃい!」と笑顔で見送る。準備の苦労は背中にかくし、休憩所メンバーのオーバーナイトハイクも熱い(暑い)一晩でした。《山本紫織》



バイク隊

バイク隊員は例年より少ない人数でしたが安全に誘導できました。後半はヘトヘトの歩行者に対して心を鬼にして声掛けしました。勇気付けられた、奮起して歩けた方がおられる、我々の役目は果たせたものと思います。最後に来年もバイク隊募集中です!《谷口聖》



本部救護

4年ぶりの開催は、非常に過酷な状況となり、要救護者が多くなることを予想。他部門との連携を密にしスムーズに処置ができるように対応しました。参加者全員がゴールできたことをうれしく思います。大会運営スタッフの皆さんに心から感謝いたします。《平川ルミ》



同行

記録的な猛暑の中、皆さん無事に完歩できたことに感動しています!今回参加された皆さんは楽しみながらも辛さも体験できたオーバーナイトハイクだったかと思いますが、ゴールした際の達成感を中学生の青春の一つとして感じて頂けたらと思います。《古賀元樹》

東葛飾高校 放送部から密着取材を受けました

東葛飾高校放送部より、夜を超えて挑戦する中学生を支える運営に焦点を当てたドキュメンタリー番組を作成したいという要望を受け、準備~本番まで半年間にわたって密着取材を受けました。

《放送部 遠藤部長からのコメント》

私は4年前(当時中1)、星を見たくてこの行事に参加しました。しかし、最も印象的だったのは、日が昇り始め少しの坂道も苦しかったとき相談員の方が『あと少し一緒に頑張ろう!』と励ましてくださったことでした。徹夜で30kmを歩き続ける、この行事でしかできないであろう体験、私の『夜を賭けた挑戦』は辛かったことさえも特別な思い出です。今回の取材で写したかったのは、このような相談員の方々の人間性が色濃く映る瞬間です。多くの方のお力添えを再認識すると共に、4年前とは別の角度でこの行事に関わることができ貴重な体験となりました。※2024年6月第71回NHK放送コンテストテレビドキュメント部門に応募予定

